

そして平成から令和時代へ

西暦だけでなく平成という年号を使用しているおかげで特定の時代を振り返ることができる。バブルの絶頂期から今日までの日経平均はまだ約 6 割弱の水準にあり、いまさらながら当時はすごかったと思う。

我々同年代の多くはちょうど働き盛りで主要な仕事を任せられ、その後のキャリア形成の重要な時期を過ごしてきた時代であった。いわばこれから始まる令和時代に向けての過ごし方の基礎作りであった。

会社では経理部門を任せられた時期に大株主の変更による合併、会社分割、再統合というプロセスに関わることとなった。個人と同様に会社もアイデンティティがあり如何にそれを相手の理解を得ながら維持するか仕組みづくりをするか苦労した。

健康面ではひどいギックリ腰 2 回、痛風 2 回、骨折 1 回経験した。最初のギックリ腰は札幌出張の 2 日前でトイレも這っていかざるをえなかった。2 度目は次男の結婚式の 3 日前で新郎の親でスピーチをする予定であったが出席できない場合に備え新婦側の父親に代わりをお願いすることになるかもしれないと連絡をいれておいた。が幸い医者が家まで来て注射をしてくれ動けるようになり翌日無事役目を果たせた。余談であるが長男も結納の日本人がギックリ腰で急に本人抜きで済ますということがあった。

痛風は 2 度とも海外出張の少し前であった。最初はフランスへの時で現地到着時までには普通に歩けるようになっていたが、食事雑談時に相手 3 人の内 2 人が痛風持ちということが判りさすがグルメの国と笑ったものだ。2 度目は中国、出発時は足を引きずり移動せざるをえない状況であった。3 日後、現地の美人社員のところへ歩いていく状況を見ていた通訳が「山岸さんだいぶ良くなったようですね。」と茶化された。体が無意識に反応して早歩きをしていたようだ。

骨折は段差に気づかず足の甲の骨がやられた。結局完治まで約 3 か月かかった。

自然災害ではあの阪神大震災はすごかった。明け方猛烈な揺れで幸い私のところは物理的な損傷はなかったが、社員はじめ多くが被害にあい、援助を全員でおこなった。

オフでは夫婦で東海自然歩道を 2002 年より 8 年がかりで、熊野古道 5 ルートを 2010 年より 5 年がかりで完歩した。その 2015 年 6 月、会社勤めを終え現在に至っている。

令和の時代で我が人生が順当であれば終了する。人皆 24 時間公平な時間を保有し時間という資産をどう使うか人それぞれであり自分で決められる時を迎えている。職務柄平成の

大部分は勘定>感情で動いてきたがこれからは感情>勘定でゆったり、まったり気の向くままに行きたいが、ここ2年程不眠症というか明け方まで眠くならない日が多い。医者に相談しても年のせいだ、睡眠薬はボケるから出さない、そうかボケるか、でも雑誌に書いてあったぞ、不眠が続くとボケると、どっちみちボケるのか。女房の言うこと聞いて面倒みてもらおう。(平成31年4月12日)

【写真：2019年1月、タスマニア、クレイドル山バックに女房と】

